

図書館だより

発行：千葉市図書館 <http://www.library.city.chiba.jp>

主な内容 【2面】冬のおはなし会のご案内
【4面】レファレンスの事例紹介

千葉市中央図書館
千葉市中央区弁天3-7-7 ☎043-287-3980

みやこ図書館 (233-8333)	白旗分館 (264-8566)
花見川図書館 (250-2851)	花見川団地分館 (250-5111)
稲毛図書館 (254-1845)	西都賀分館 (254-8681)
若葉図書館 (237-9361)	泉分館 (228-2982)
緑図書館 (293-5080)	あすみが丘分館 (295-0200)
美浜図書館 (277-3003)	土気図書室 (294-1666)
移動図書館 (287-3983)	打瀬分館 (272-4646)

2010 国民読書年

国民読書年記念事業
教えてください
あなたの1冊

国民読書年記念事業のひとつとして、5月1日(土)から9月30日(木)まで、心に残る思い出の本、何度も読み返した本、次の世代に手渡したい本など、読書の楽しみが広がるような本を「教えてくださいあなたの1冊」として募集しました。ここでは寄せられた回答の一部をご紹介します。

*ペンネーム、年齢、性別は任意記入だったため、一部記載がないものもございます。

書名：ノンちゃん雲に乗る
著者名：石井桃子

初めて読んだのは中学か高校のころだったと思います。何度読んでも心が洗われる思いです。涙が出ますが、悲しい涙ではありません。ノンちゃんの目を通して見た人々の優しさやまっすぐな気持ちに打たれます。
ペンネーム：礼子(70代・女性)

書名：トム・ソーヤーの冒険
著者名：マーク・トウェイン

今のように「物」が豊かでなかった私の小学生時代。いたずらっ子の主人公が友人ハックルベリー・フィンとおりなす冒険に想像をかき立てられ、忘れられない思い出の1冊です。(5才上の長姉も好きなようでした)何度も読み返し、純粋な気持ちに戻り、元気が出ました。
ペンネーム：y・a(60代・男性)

書名：不毛地帯
著者名：山崎豊子

ビジネス戦争の実態を知りたくて読むと引きずり込まれ、この大作を読み終えてしまうのが惜しい気になったおもしろい本。(50代・男性)

書名：霧のむこうのふしぎな町
著者名：柏葉幸子

小学校の時(かれこれ30年前…!)図書館でくり返し借りて読んだ本です。とうとう親が買ってくれ、今でも大事にしています。そろそろ娘にも読んでもらいたいです。(40代・女性)

書名：人間の土地
著者名：サン＝テグジュペリ

読むたびに新しい発見があります。星の王子さまの作者が砂漠で体験したお話は特に素敵です。言葉のひとつひとつが心にしみてきます。
ペンネーム：F(20代・女性)

書名：プシュケの涙
著者名：柴村仁

“夏休みに一人の少女が校舎から飛び降り自殺をしたのだ”その飛び降り自殺の現場を見た榎戸川と“変人”の由良がその謎を探り始めた。その結果は、あまりにも切なく、愛しい結果でした。(10代・女性)

書名：東京セブンローズ
著者名：井上ひさし

戦後日本語の危機(*)があったなんて、映画を見ているような展開でとにかく楽しい本です。
*日本語をローマ字化するGHQの計画
ペンネーム：ドンキホーコ(女性)

スタンプラリー完走者数報告!

国民読書年記念事業のもうひとつの取り組みとして、移動図書館を含めた、中央図書館・地区図書館・分館全15か所のうち、10か所以上を回る図書館スタンプラリーを5月1日(土)から10月31日(日)まで実施しました。126名が10か所以上をクリアし、そのうち21名が15か所すべてを回る完全制覇を成し遂げました。



絵本やお話の世界をたのしもう!

図書館の「冬のおはなし会」



各図書館でパネルシアターや絵本の読み聞かせ、昔話などの素話すばなしを行います。皆さんのお越しをお待ちしています。(当日先着順)



花見川区

12/18(土)中央図書館

3・4歳児と保護者 11:00~11:30
5歳児~小学生と保護者 15:00~15:30
定員:各回30人

中央区

12/25(土)みやこ図書館

3~6歳児と保護者 10:00~10:30
小学生と保護者 11:00~11:30
定員:各回40人

12/15(水)みやこ図書館白旗分館

3歳児~小学生と保護者 15:30~16:00
定員:30人

12/17(金)花見川図書館

1~3歳児と保護者 11:00~11:30
4歳児~小学生と保護者 16:00~16:30
定員:各回30人

12/22(水)花見川図書館花見川団地分館

3歳児~小学生と保護者 15:30~16:00
定員:30人



12/11(土)若葉図書館

3・4歳児と保護者 14:00~14:30
5歳児~小学生低学年と保護者 15:00~15:30
定員:各回30人

稲毛区

12/17(金)稲毛図書館

3~6歳児と保護者 15:15~15:45
小学生と保護者 16:00~16:30
定員:各回60人

12/22(水)若葉図書館西都賀分館

3・4歳児と保護者 15:00~15:30
5歳児~小学生低学年と保護者 15:45~16:15
定員:各回20人

若葉区

12/25(土)若葉図書館泉分館

3歳児以上と保護者 11:00~11:30
定員:30人

12/17(金)緑図書館

2・3歳児と保護者 11:00~11:30
4歳児以上と保護者 15:30~16:00
小学生と保護者 16:00~16:30
定員:各回36人

緑区

12/15(水)緑図書館あすみが丘分館

3~6歳児と保護者 15:00~15:30
小学生と保護者 15:45~16:15
定員:各回40人

美浜区

12/18(土)美浜図書館

3歳児以上と保護者 10:30~11:00
5歳児以上と保護者 11:30~12:00
定員:各回40人
※会場:高洲子育てリラックス館2階 ひろば2
(美浜図書館となり)

12/18(土)緑図書館土気図書室

3歳児以上と保護者 14:00~14:30
定員:30人
※会場:土気公民館集会室

12/24(金)美浜図書館打瀬分館

3歳児以上と保護者 15:30~16:00
5歳児~小学生と保護者 16:00~16:30
定員:各回20人

地区図書館 & 分館のページ

みやこ図書館

「図書館情報検索講座(初級)」

みやこ図書館では、館内に設置されている資料検索機の使い方の講座を開催します。

検索機を操作していただき、資料の検索予約・貸出期間延長などについてご説明します。

日時 12月16日(木) 13時30分～15時

定員 先着3名

申込 12月1日(水)から窓口または電話で

この他、平成23年1月8日(土) 10時より「こどもかるたあそび」を行います。かるたで遊んだことのないお子さん歓迎です。

詳しくは、お問い合わせください。

みやこ図書館 ☎043(233) 8333

若葉図書館 西都賀分館

企画展示のお知らせ

若葉図書館西都賀分館では、毎月「その季節・その時期」に読んでいただきたい資料を展示コーナーで紹介しています。

12月は、15日まで、「和を楽しむ」というタイトルで、日本の伝統文化や風習を紹介した資料を展示しています。17日からは、「冬のスポーツ特集」というタイトルで、スキーやスケート、そしてラグビーなどのスポーツを扱った資料を展示します。

児童室の展示コーナーでは、季節に合った絵本や、子供たちに読んでいただきたい本なども展示しています。また、児童室へ上がる階段には、その季節折々の花や昆虫などを折り紙で折って飾り付けています。折り紙の折り方の載った本なども紹介しています。

皆様の御来館を館員一同お待ちしております。

花見川図書館

☆中学生の「1冊」とYAセクションコーナー

花見川図書館から歩いて数分のこてはし台中学校。秋の読書まつりには、校内にある「楽遊館」から生徒さんにかけていただいて科学体験プログラムを紹介してもらいました。また、国民読書年企画「教えてくださいーあなたの1冊」にもご協力いただき、312人の1冊を教えてくださいました。

各学年・男女を通じて人気の高かった作家は山田悠介、続いて、東野圭吾、宗田理、あさのあつこ、宮部みゆきが続きます。外国文学ではハリ・ポッターとダレンシヤンのシリーズが読まれており、青木和雄「ハッピーバースデー」は女子のおすすめが多い本でした。

花見川図書館では、こうした声も参考に、子ども室の一角にYAセクションコーナーを設け、一般書・児童書の枠を超えて中学生が楽しめる本を揃えています。



緑図書館

○あすみが丘分館

土気あすみが丘プラザの3階、窓の多いモダンな建物の中にある見晴らしのよい図書館です。毎月、子ども達に絵本の読み聞かせをする「おはなし会」を開催しています。・「おはなし会」毎月第2水曜日 15時45分～16時15分・「クリスマスおはなし会」もあります。

○土気図書館

土気市民センターの2階にあるレトロな雰囲気の図書室です。小規模で開館日・開館時間も限られておりますが予約も受付けていますのでご利用ください。

・開館日 火・水・土 13時～17時15分
・「冬の親子おはなし会」を開催します。

詳しくは、各図書館にお問い合わせください。

緑図書館 ☎043(293) 5080
あすみが丘分館 ☎043(295) 0200
土気図書館 ☎043(294) 1666

稲毛図書館

「稲毛図書館美術講座」今年度も開催!

昨年度、大変好評だった「稲毛図書館美術講座」を平成23年2月5日(土)に開催します。

この講座は、千葉市美術館の学芸員を講師に迎え、スライドプロジェクトで作品を鑑賞しながら解説を聞くものです。

今回のテーマは「新収蔵作品展」で、近年新たに千葉市美術館に寄贈・寄託された作品を紹介していただきます。

なお、詳しくは、「市政だより1月15日号」でご案内します。



高田柳哉「平棗 大徳寺椿」漆器、2000年

美浜図書館

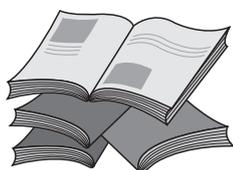
美浜図書館は、開館してから30年を迎えました。

高洲コミュニティセンターとの併設で昭和55年11月16日に開館しました。開館日は盛況で、翌日の朝日新聞に、『二日の貸出数で日本新』の記事が掲載されました。

また、千葉市の図書館の中で、一番はじめにコンピュータシステムを導入し(昭和63年3月10日稼働)地域の皆様と共に歩んでまいりました。

平成12年4月には、長年親しんできた「高洲図書館」から「美浜図書館」に名前が変更になり、今でも高洲図書館とおっしゃる方が多く、長くお付き合いをしていることを実感します。

これからも地域の皆さまに役立つ図書館をめざし取り組んでまいります。



レファレンス事例 (24)

映画『椿三十郎』の原作となった小説が読みたい。

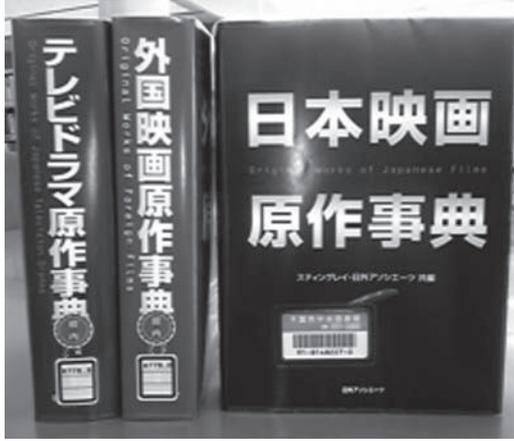
映画を観て、その原作を読みたくなくなった経験をお持ちの方も多いんじゃないでしょうか。そんな時、「原作事典」を利用すれば映画の原作を調べることができます。

今回のご質問は、日本の映画についてのものだったので、『日本映画原作事典』(日外アソシエーツ 2007)を用いて調査しました。この事典は、1946年から2007年10月までに日本国内で劇場公開された日本映画と、その原作作品の情報が収録された原作事典です。

本文は映画タイトルの五十音順に配列されています。ご質問の『椿三十郎』は434ページにあり、「原作・山本周五郎『日々平安』」との記述から、この映画の原作が判明しました。また、原作作品が掲載されている図書として、『日日平安―青春時代小説』(角川春樹事務所 2006)が紹介されています。

今回の例では、映画のタイトルから原作を調べましたが、巻末の「原作文索引」を用いて、原作から映画を調べることも可能です。

また、原作事典としてこのほかに、『外国映画原作事典』(日外アソシエーツ 2008)、『テレビドラマ原作事典』(日外アソシエーツ 2010)などが刊行されており、日本で公開された外国映画や、日本で放送されたテレビドラマの原作も調べることができます。



蔵書点検って何？

蔵書点検とは、利用者が必要とする資料を適切に提供できるように、資料を一冊一冊点検する作業です。データ上所蔵となっている資料が、実際にあるかどうかを確認していきます。

点検前作業として、書棚の整理を実施し、資料を正しく配架します。(請求記号順、著者名順等で図書を決められた場所に並べることを配架といいます。)他の本の中に挟まっていたり、本の後ろに入り込んでいる本がないかよく確認して行います。

点検作業方法は、職員がPOT(ポータブルターミナル)という携帯用の端末機を持って、図書や雑誌一冊一冊のバーコードを読み込んでいきます。「ピッ」という読み込み音を確認しながら順序よく作業します。読み込んだデータは所蔵データと照合し、なくなった資料がないか、誤って配架された資料がないかを確認していきます。その際、書棚や本をきれいにする作業も行っていきます。

また、蔵書点検の作業と並行して、点検中に見つかった破損資料の修理や、配架場所を変更する作業(書庫への移動など)も実施しています。

中央図書館では、11月11日～18日を特別整理期間として休館し、蔵書点検を実施しましたが、地区図書館・分館・公民館図書室も順次蔵書点検を実施していく予定です(下表のとおり)。

毎年、蔵書点検期間中は利用者のみなさまにご不便をおかけしますが、図書館のよりよいサービスに必要な作業ですので、ご理解をお願いします。

(平成22年度 蔵書点検期間)

実施時期	休館日数	実施図書館・図書室
平成23年 1月18日(火) ～21日(金)	4日間	公民館図書室 (中央区・稲毛区・若葉区)
2月9日(水) ～17日(木)	7日間 (月曜日・ 祝日を除く)	みやこ図書館・稲毛図書館 若葉図書館・花見川団地分館 あすみが丘分館・打瀬分館
2月15日(火) ～18日(金)	4日間	公民館図書室 (花見川区・緑区・美浜区)
3月10日(木) ～17日(木)	7日間 (月曜日を 除く)	花見川図書館・緑図書館 美浜図書館・白旗分館 西都賀分館・泉分館 土気図書室

図書館の資料は大切に扱きましょう!

図書館の資料は、市民の皆さんの大切な財産です。資料への書込みや切り取り、ページを折る、線を引くなどの行為は、絶対にしないでください。